

家政学雑誌における引用文献情報の解析(1) - 引用文献数の解析 -

図書館情報大 佐々木敏雄 大妻女大家政 大森正司 岡田安代 岡本順子
 東京農大農 加藤みゆき 大妻高校 徳増レヰ子 岐阜大教育 長野宏子

目的 この国の文化を知る方法の一つとして印刷物を分析する方法がある。また、逐次刊行物の重要度を定める一つの方法として、引用文献を分析することがある。本法は既に、農学分野^①をはじめ他分野でも試みられ、文献情報の寿命、真の情報率、などが明らかにされている。本研究では家政学雑誌を対象に同様の分析を行い、家政学の特徴を明らかにすることを試みた。

方法 1954年(vol.5)、1964年(vol.15)、1974年(vol.25)、1984年(vol.35)に掲載されている論文の全引用文献約2200件を対象に分析した。

結果 ①1号当りの引用文献数は、1954年32、1964年65、1974年77、1984年90と増加しているのが認められた。1論文当りの引用文献においても、ほぼ同様の傾向が示された。②引用頻度の高い順からいくつかを選び、この引用率の合計値、すなわち情報量で見ると、50%の情報を得るのに10紙前後が必要であり、これは年々増加する事が認められた。研究組織の多様化、自己引用においてもほぼ同様である。